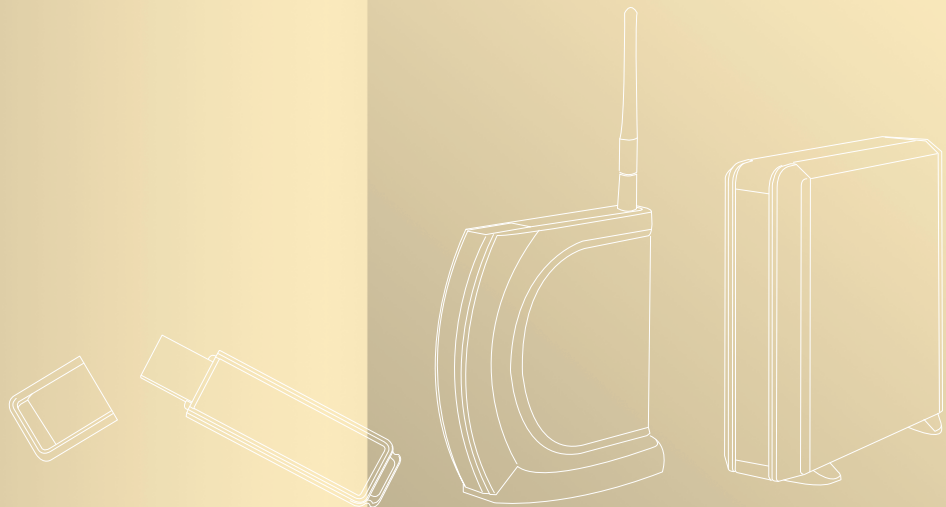


Business Report 2006.4.1 – 2006.9.30

# ***BUFFALO***



## 変化を先取りするメルコグループ

### デジタルホーム市場に照準

メルコグループは、常に市場の変化を先取りし、新たなニーズに対応した製品でパソコンユーザの期待に応えてきました。そして現在、メルコグループの製品はメモリ、ストレージ、ネットワークなどの多くの製品で国内シェアNo.1にランクされています。

今、起こりつつある大きな変化のひとつに、地上波デジタル放送やビデオ配信サービスの普及があります。この背景には「動画・音声のデジタル化」と「ネットワークでの利用が進む」ということがあります。この変化により、ホームネットワークにパソコンやテレビが接続され、自由に動画を楽しめる「デジタルホーム」がもう目の前に迫ってきています。

メルコグループは、デジタルホームに照準を当て、より便利で楽しい社会の発展に貢献してまいります。

### 大幅に売上が増加

当中間期は、国内のハードディスクと無線LANが好調な上、海外市場の開拓が軌道に乗り前年比18.3%増と大幅に売上が増加しました。ハードディスクの大幅な売上増加は、TVチューナ搭載パソコンの普及やインターネットを通じた動画利用の増加によって必要な記憶容量がどんどん拡大していることによるものです。また、無線LANは携帯ゲーム機などパソコン以外にもユーザ層を広げ、デジタルホームの前提となるホームネットワークの普及に貢献しました。

### 海外展開の強化

デジタルホームに次ぐグループの成長戦略である海外市場の開拓では、ネットワークハードディスクが大きく貢献し、欧州や北米の売上高が大幅に拡大しました。

メルコグループが将来にわたって成長を続けていくためには、製品の企画・開発力と共にコスト競争力は不可欠です。しかし、世界市場の中では日本はけっして大きくなく、パソコンの出荷台数で見



写真：読売新聞社提供

株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長 牧 誠

ると日本はわずか6.7%にしか過ぎません。国内市場に安住せず海外に販路を求め規模を拡大していくことは、結果としてコスト競争力をつけ、現在の国内のトップランナーとしての地位を守ることにもなります。幸い、これまでの布石が効果を出し始め、海外展開に手ごたえを感じています。今後、立ち上がり始めた欧州・北米の展開強化を重点に、中国を始めとする他の地域の市場開拓も加え、より強いメルコグループを目指します。

## デジタルホーム市場のパイオニアとして

動画のデジタル化が進みネットワークでの利用が増えると、メルコグループのビジネスに大きなチャンスが生まれます。普通のテレビをネットワーク対応にするメディアプレーヤやホームネットワークの中心となる無線LAN、また、増え続ける動画データを保存するネットワークハードディスクなど当社グループの得意とする分野の市場拡大が見込まれます。特にネットワークハードディスクは、今後、家電メーカーのDVDレコーダやホームサーバの増設機としての使い方も期待できます。

また、デジタル家電の分野では日本が先行しており、国内の家電メーカーやゲーム機メーカーとの連携は、メルコグループの海外展開にもプラスになります。

当社グループは、市場の変化をしっかりと見据え、デジタルホーム市場のパイオニアとして今後も引き続き積極的な市場開拓を進めてまいります。

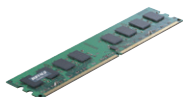




## メモリ製品



メモリモジュールはパソコンの記憶容量を増加させる部品です。容量が大きいほど一度に扱えるプログラムやデータの量が大きくなり、効率良く速く処理することができます。メモリ製品には、メモリモジュールの他に手軽にデータが持ち運べる「USBフラッシュメモリ」や、デジタルカメラで利用する「microSDカード」や「コンパクトフラッシュ」などがあります。



メモリモジュール



USBフラッシュメモリ



microSDカード



カードリーダー/ライター



## ストレージ製品



ストレージはソフトウェアやデータを保存する外部記憶装置です。主力の製品であるハードディスクにはパソコンの中に内蔵するタイプやパソコンの横において使用する外付けタイプ、また、複数のパソコンから利用できるネットワークハードディスクがあります。パソコンで動画を利用する機会が増えており、必要な記憶容量が増加するため、ハードディスクの増設需要が高まっています。このほかDVDやMOなどさまざまな記憶装置があります。



Blu-rayドライブ



ハードディスク



ポータブルハードディスク



TeraStation (LAN接続ハードディスク)



## ネットワーク製品/ブロードバンド



ネットワークの代表的な製品には、LANアダプタ、ハブ、無線LANなどがあります。ネットワークを利用すると複数のパソコンでデータを共有したインターネットの利用が可能になります。特に無線LANはわずらわしい配線が必要でなくホームネットワークでの利用が増えています。



無線LANブロードバンドルータ



無線LANカード



ハブ



## その他の製品

マウスやキーボード、液晶ディスプレイなどの製品やサービスビジネスなどがあります。また、テレビ放送をパソコンに読み込む「TVキャプチャ」やパソコンの映像や音楽をテレビで楽しむ「メディアプレーヤ」などデジタルホーム関連製品もその他の製品に含まれます。



マウス



液晶ディスプレイ



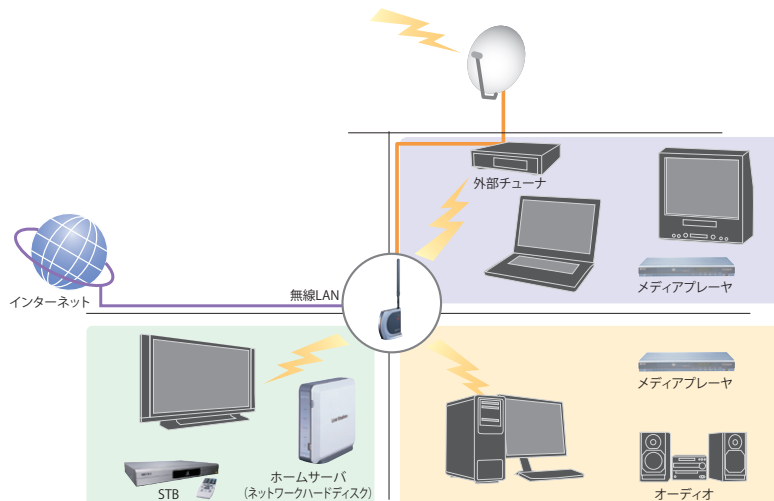
TVキャプチャ  
(ワンセグチューナ)



メディアプレーヤ

## デジタルホーム

デジタルホームという使い方が普及するとメルコグループの多くの製品に影響します。普通のテレビをネットワーク対応にし、パソコンの映像や音楽を視聴するためのメディアプレーヤやホームネットワークの中心となる無線LAN、また、DVDレコーダやホームサーバの増設機にもなるネットワークハードディスクなどの市場拡大が見込まれます。



## 2007年3月期中間連結売上高の概況

### メモリ

夏のボーナス商戦ではパソコンの販売がふるわず厳しい市場環境でしたが、懸命な販売努力によってメモリモジュールとフラッシュ製品のそれぞれが売上高を確保しました。また、メモリモジュールの部品原価が上昇し利益が減少しましたが、フラッシュ製品で補い安定収益源としての役目を果たしました。売上高は前年比2.9%増の188億50百万円となりました。

### ストレージ

ビデオ配信サービスの増加やインターネットで動画投稿サイトに人気が集まるなどパソコンで動画を利用する機会が増えハードディスクの増設需要が高まっています。また、ネットワークハードディスクの販売が好調で海外の売上高を急成長させる原動力となりました。DVDやMOなどその他のドライブ製品の減少がありましたが、売上高は大幅に増加し、前年比28.4%増の230億64百万円になりました。

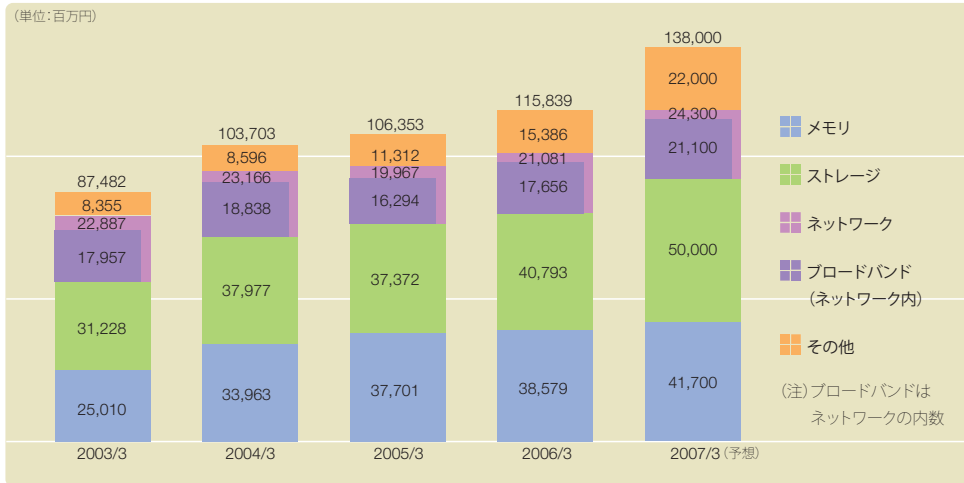
### ネットワーク製品／ブロードバンド

当期は携帯ゲーム機、プリンタ、音楽プレーヤなど無線LANに接続される機器が増加しユーザー層が大きく広がりました。特に携帯ゲーム機でインターネット対戦ゲームをするためには無線LANが必ず必要になるため、今後の需要増加にも期待が持てます。売上高は、前年比19.4%増の111億55百万円になりました。

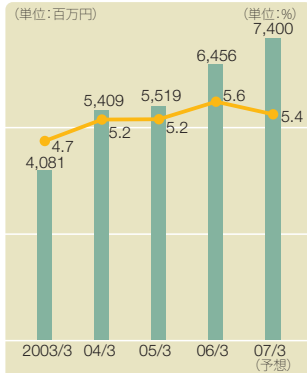
### その他の製品

デジタルホーム関連製品、液晶ディスプレイ、マウスやキーボードなどのサプライ製品の売上がそれぞれ伸び、売上高は前年比35.4%増の92億19百万円になりました。

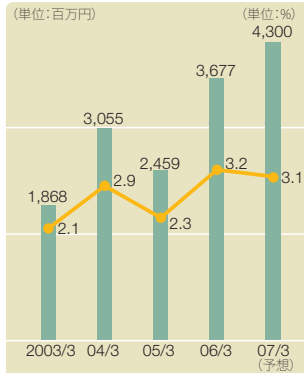
## 連結売上高



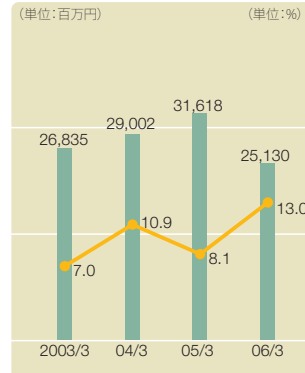
## 連結経常利益と 連結売上高経常利益率



## 連結当期純利益と 連結売上高当期純利益率



## 連結株主資本と 連結株主資本当期純利益率



(見直しに関するご注意)上記の業績予測は現時点で得られる情報に基づいて算定されたものであり、多分に不確実な要素を含んでいます。従って、実際の業績は業況の変化により業績予測と異なる場合があります。

# 財務情報

## 中間連結貸借対照表

当中間期 (平成18年9月30日現在)  
 前中間期 (平成17年9月30日現在)  
 前期 (平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	前 期
<b>資産の部</b>			
流動資産	43,296	44,174	43,953
固定資産	7,650	6,867	7,743
有形固定資産	1,755	1,665	1,732
無形固定資産	193	78	109
投資その他の資産	5,701	5,122	5,901
<b>資産合計</b>	<b>50,947</b>	<b>51,042</b>	<b>51,697</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	23,387	17,162	25,630
固定負債	1,040	946	935
<b>負債合計</b>	<b>24,428</b>	<b>18,108</b>	<b>26,565</b>
(少数株主持分)	—	1	1
<b>資本の部</b>			
資本金	—	1,000	1,000
資本剰余金	—	11,677	1,927
利益剰余金	—	20,155	21,955
その他有価証券評価差額金	—	356	479
為替換算調整勘定	—	△ 239	△ 210
自己株式	—	△ 18	△ 20
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>32,931</b>	<b>25,130</b>
<b>負債・少数株主持分及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>51,042</b>	<b>51,697</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本			
資本金	1,000	—	—
資本剰余金	1,927	—	—
利益剰余金	23,558	—	—
自己株式	△ 20	—	—
<b>株主資本合計</b>	<b>26,465</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	256	—	—
為替換算調整勘定	△ 204	—	—
評価・換算差額等合計	51	—	—
新株予約権	0	—	—
少数株主持分	1	—	—
<b>純資産合計</b>	<b>26,518</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,947</b>	<b>—</b>	<b>—</b>

## 中間連結損益計算書

当中間期 (平成18年9月30日現在)  
 前中間期 (平成17年9月30日現在)  
 前期 (平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	前 期
売上高	62,290	52,652	115,839
売上原価	52,512	44,107	98,376
販売費及び一般管理費	6,464	5,245	11,153
<b>営業利益</b>	<b>3,313</b>	<b>3,298</b>	<b>6,309</b>
営業外収益	129	140	236
営業外費用	39	284	90
<b>経常利益</b>	<b>3,403</b>	<b>3,154</b>	<b>6,456</b>
特別利益	104	0	33
特別損失	40	112	312
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>3,467</b>	<b>3,042</b>	<b>6,177</b>
法人税、住民税及び事業税	1,526	1,354	2,465
法人税等調整額	△ 38	71	34
<b>少数株主利益又は少数株主損益(△)</b>	<b>△ 0</b>	<b>0</b>	<b>△ 0</b>
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>1,980</b>	<b>1,616</b>	<b>3,677</b>



## 中間連結剰余金計算書

前中間期 前期	(平成17年9月30日現在) (平成18年3月31日現在)	(単位:百万円)	
	前中間期	前 期	
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高	11,677	11,677	
資本剰余金減少高自己株式消却額	—	9,750	
<b>資本剰余金中間期末(期末)残高</b>	<b>11,677</b>	<b>1,927</b>	
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高	18,834	18,834	
利益剰余金増加高中間(当期)純利益	1,616	3,677	
利益剰余金減少高			
配当金	261	523	
役員賞与	33	33	
<b>利益剰余金中間期末(期末)残高</b>	<b>20,155</b>	<b>21,955</b>	

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

当中間期 前中間期 前期	(平成18年9月30日現在) (平成17年9月30日現在) (平成18年3月31日現在)	(単位:百万円)		
	当中間期	前中間期	前 期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,685	△ 1,047	△ 239	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 36	1,245	75	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,646	△ 278	△ 7,992	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 78	203	310	
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少は△)</b>	<b>△ 76</b>	<b>122</b>	<b>△ 7,846</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	10,235	18,082	18,082	
<b>現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	<b>10,158</b>	<b>18,204</b>	<b>10,235</b>	

## 中間期連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高	1,000	1,927	21,955	△ 20	24,862	479	△ 210	268	—	1	25,132
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 346		△ 346						△ 346
利益処分による役員賞与			△ 30		△ 30						△ 30
中間純利益			1,980		1,980						1,980
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 223	5	△ 217	0	△ 0	△ 217
<b>中間連結会計期間中の変動額合計</b>		<b>0</b>	<b>1,603</b>	<b>0</b>	<b>1,603</b>	<b>△ 223</b>	<b>5</b>	<b>△ 217</b>	<b>0</b>	<b>△ 0</b>	<b>1,386</b>
平成18年9月30日残高	1,000	1,927	23,558	△ 20	26,465	256	△ 204	51	0	1	26,518

## メルコグループ

当社グループは持株会社である株式会社メルコホールディングスを中心に、株式会社バッファローをはじめとする事業会社によりグループ14社で構成されています。

### 株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文表記) MELCO HOLDINGS INC.	役員(2006年9月30日現在) 代表取締役社長 牧 誠
設立	1986年(昭和61年)7月1日	専務取締役 斉木 邦明
資本金	10億円	常務取締役 牧 博道
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援・経営指導を通じて統括管理を行う。	取締役 山口 英利 取締役 津坂 巖
従業員数	49名、メルコグループ連結811名	取締役 横江 有道
グループ企業	会社数14社(国内9社・海外5社)	常勤監査役 小林 清史 監査役 西川 俊男 監査役 川島 譲 監査役 隅 朝恒

### 株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー	役員(2006年9月30日現在) 取締役会長 牧 誠
創業	1975年(昭和50年)5月1日	代表取締役社長 斉木 邦明
設立	1978年(昭和53年)8月5日	常務取締役 山口 英利
資本金	64億円	取締役 豊岡 誠史
事業内容	パソコン・ブロードバンド関連機器の開発・製造・販売および関連サービスの提供	取締役 西岡 孝行
従業員数	393名	取締役 松尾 民男 取締役 続木 政直
		監査役 小林 清史 監査役 津坂 巖 監査役 小出 隆志 監査役 隅 朝恒

#### 事業所

本社	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15	TEL.052-619-1811	FAX.052-619-1800
東京支店	〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-5 栄太楼ビル	TEL.03-3242-7777	FAX.03-5203-8551
本社分室	〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル	TEL.052-251-6891	FAX.052-241-7979
名古屋支店	〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
大阪支店	〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-18 アクセス谷町ビル	TEL.06-6191-1511	FAX.06-6191-1510
仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバンダント95	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755
札幌営業所	〒060-0031 札幌市中央区北一条東1-4-1 サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
テクニカルサービスセンター	〒457-8570 名古屋市南区豊田3-3-5	TEL.052-698-2455	FAX.052-698-2099

## 関連会社

日本	シー・エフ・デー販売株式会社	インターネット関連機器・コンピュータ周辺機器の販売 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1311 FAX 052-619-1204
	株式会社バッファロー物流	製品の梱包・出荷業務 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号棟 TEL 052-883-3035 FAX 052-883-3042
	株式会社バッファローリース	インターネット関連機器のレンタルおよびリース 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-5 栄太楼ビル TEL 03-5203-8199 FAX 03-5203-8551
	オリーブネット株式会社	インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内 TEL 052-882-3302 FAX 052-882-3302
	株式会社メルコパーソナルサポート	人材派遣事業 〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル TEL 052-251-6823 FAX 052-241-7979
	株式会社エム・ティー・エス	インターネット関連のサポートおよびサービス 〒457-8570 名古屋市南区豊田3-3-5 TEL 052-698-3076 FAX 052-698-3157
	株式会社リパティシブ	インターネット関連サービス 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-5 栄太楼ビル TEL 03-5299-3561 FAX 03-5203-8551
アジア	巴比禄股份有限公司	インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造・販売 4F,NO.18,LANE609,SEC.5,CHUNG HSIN RD.,SANCHUNG CITY,TAIPEI HSIEN,TAIWAN TEL 886-2-2999-9860 FAX 886-2-2999-2264
	MELCO ASSET MANAGEMENT PTE. LTD.	資金の運用助言 16, Collyer Quay, #10-00, Hitachi Tower, Singapore 049318 TEL 65-6622-0888 FAX 65-6622-0800
米国	BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.	インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売・製造 4030 West Braker Lane, Suite 120, Austin, TEXAS 78759-5319 U.S.A. TEL 1-512-794-8533 FAX 1-512-794-8520
欧州	BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED	インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売 176 Buckingham Avenue, Slough, Berkshire SL1 4RD, United Kingdom TEL 44-1753-555-000 FAX 44-1753-535-420
	BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED	インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造 East Park, Shannon Free Zone, Shannon, Co. Clare, Ireland TEL 353-61-708090 FAX 353-61-360140

## メルコホールディングス株式情報（2006年9月30日現在）

インターネット、もっと使いやすく  
**BUFFALO**<sup>TM</sup>

決算日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
発行済株式数	23,125,773株（自己株式控除後 23,118,710株）
株主数	10,366名（2006年9月30日現在）
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 <a href="http://melco-hd.jp/koukoku/">http://melco-hd.jp/koukoku/</a>
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 ◎株式に関するお手続きについてご不明な点、確認したい点などがある場合は、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。 TEL 0120-232-711（土・日・祝祭日を除く9：00から17：00 通話料無料） ◎株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っています。 TEL 0120-244-479（通話料無料） <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
幹事証券会社	（主）大和証券SMBC （副）野村證券、みずほインベスターズ証券、日興コーディアル証券

### 株式会社 **メルコホールディングス**

---

本 社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50（カミヤビル） <a href="http://melco.co.jp/">http://melco.co.jp/</a> （証券コード6676）	TEL 052-251-6891（代）	FAX 052-241-7979
-----	---	---------------------	------------------

### 株式会社 **バッファロー**

---

本 社	〒457-8520 名古屋市中区柴田本通4-15	TEL 052-619-1811（代）	FAX 052-619-1800
東京支店	〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-5（栄太楼ビル）	TEL 03-3242-7777（代）	FAX 03-5203-8551
本社分室	〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50（カミヤビル） <a href="http://buffalo.jp/">http://buffalo.jp/</a>	TEL 052-251-6891（代）	FAX 052-241-7979